

田沼と定信の政治

享保の改革のあと...

老中 ^{ためま おきつく} 田沼意次 が **商業を重視** した政治を行いました。

田沼意次の政治

- 商工業者が **株仲間** をつくり、特権を得るのを認めてあげた。

↳ その代わりに営業税をとった。

年貢に頼る
貝才政の如く
直しは限界だ!



田沼意次

おぬしも悪やのう

- 長崎の貿易を奨励した。
特に、銅や海産物を中国に輸出し、金と銀を輸入した。
- より多くの海産物を得るために、虫段夷地の開拓を計画した。
- 町人の資金で、新田開発を積極的にすすめた。

糸 ↓ 果

商人重視の政治を行ったので、農民からの言平判が悪く、不満が高まって各地で百姓一揆が起これたり、米屋や大商人を襲う **打ちこわし** が起これり、政治は不安定となった。

また、地位や特権を手に入れたい商人達からの ^{わいろ} 賄賂が横行し、批判が高まり決裂した。